

生活科学習指導案

1. 日 時 平成 25 年 (2013 年) 7 月 12 日 (金) 6 校時

2. 学年・組 第 2 学年

3. 場所

4. 単元名 「野比の町たんけん」

5. 単元目標 町探検を通して、自分たちの生活が地域の人々や様々な場所と関わっていることが分かり、地域の人々や場所と適切に関わるとともに、野比の町への愛着を深め、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。

6. 具体目標

【 生活への関心・意欲・態度 】

- ①地域の人々や様々な場所・ものに関心を持ち、安全なもの探しをしている。
- ②地域の人々や様々な場所に親しみや愛着を持ち、繰り返し適切な関わりをしている。

【 活動や体験についての思考・表現 】

- ①探検で見つけたことや聞いたことに、自分なりの思いを持つことができる。
- ②自分の思いや考えを持って、インタビューしたいことを考えることができる。
- ③町探検で分かった町のよさを、自分なりの方法で表現できる。

【 身近な環境や自分自身への気付き 】

- ①地域の人々や様々なもの・場所が、自分たちの安全な生活を支えていることが分かっている。
- ②親しみや愛着のある場所が増えたり、人々と適切に接したりすることができるようになった自分に気付いている。

7. 単元観

本単元は、内容(1)、(3)を中心にして展開したものである。

野比の町を歩いて探検する中で、児童は動植物をはじめとする自然、そこで出会う人々や暮らしの様子等に気付いていく。本単元はそれだけでなく、町の危険な箇所、安全を守っている施設や人々に着目させていく。ガードレール・信号機・横断歩道など、自分たちの身を守ってくれているものの存在。また、毎朝登校を見守ってくれている交通指導ボランティアさんや交番・消防署の人たち、地域の人々の存在やその人たちの思いを知ること、
「僕たちはこんなに優しい人たちに囲まれて安全に生活しているんだ」ということに気付かせたい。さらに、
「自分たちが安全に生活することが地域の人たちの喜びなんだ」ということに気付かせることで、児童の安全に生活しようという生活態度を養いたい。子どもたちを巻き込む事件が多発するなど児童を取り巻く環境が変化中、学校内での生活だけでなく、学校外でも安全な生活ができるようにすることを目標としたい。

8. 児童の実態

9. テーマを具現化するための単元における手立て

テーマ 「豊かな学びを創り出す のびっ子の育ち」

サブテーマ 「子どものおもいに寄り添った主体的な問題解決を目指す授業づくり」

(1)子どものおもいに寄り添うために、以下の点に留意した授業づくりを行う。

- ・子どものおもい：みんなを守ってくれているものにはどんなものがあるのだろう。
- ・教師の願い：自分たちが安全に生活することが地域の人たちの喜びにつながっていることに気付かせたい。
- ・学習する内容：野比の町への愛着を深め、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。

(2)単元における手立て

手立て① 子どもの思いを引き出すための手立て

自分の思いをまとめる。

- ・探検したことの記録をためておけるファイルを活用し、すぐにふり返りができるようにする。また、教師自身が児童の記録や思いを把握するためのものとしても活用していく。
- ・考えをまとめて表現できるようなカードを用意し、話し合いの場で活用する。

学習材の工夫をする。

- ・グリーンベルトや子ども110番の家の存在に目を向けさせることで、地域には自分たちの身を守ってくれるようなものがたくさんあることに気付かせたい。
- ・毎朝交通指導をしてくれるボランティアさんや、交番の人・消防署の人たちに話を聞くことで、多くの人々に安心・安全な生活を守られているという実感を持ってもらえらると思う。

手立て② 主体的な活動を生み出すための手立て

インタビューしたい人ごとにグループ分けをする。

- ・交番・交通指導ボランティア・消防署・子ども110番の家などにグループ分けをして、どんなことを聞きたいのかを考えることで一人ひとりの意欲が高まると思う。また、「ボランティアさんが毎朝交通指導してくれているのはどうしてだろう？」というような質問から「聞いてみたい」「会って話してみたい」という児童の思いにつなげていきたい。

学び合いを大切にする。

- ・人との関わりのよさに目をむけている子を取り上げることで、児童全体の気付きの質を高めていけるようにしたい。日頃から話し合い活動を大切にして学習をしている。今回においても交流の場を大切に、全体の場で児童の意見を取り上げることで質の高い気付きをクラスで共有する。

探検のルールづくりをする。

- ・町たんけんに出かけるにあたって、「横断歩道は左右を確認してから渡る。」「出会う人にあいさつをする。」といったような安全・マナーについてのルール作りを子どもたち自身にさせることで、意欲的に活動できるようにしたい。

(3)テーマを具現化するための本時における手立て

【迫りたい子どもの姿】

〇〇さんに、△△と聞いてみたい。

以上の子どもの姿に迫るために、以下の手立てを考えた。

①みんなを守ってくれているものを「もの」と「人」に分けて板書する。

- ・信号機や横断歩道，救急車など，守ってくれている「もの」がたくさん存在することを確認するとともに，それらの多くが「人」とつながっていることを分かりやすく認識できると思う。

②身近な人に焦点をあてる。

- ・「交通ボランティアさんは雨の日も暑い日も立ってくれている。どうしてだろう？」というように，児童にとって身近な人を取り上げることで，実感を伴って考えることができると思う。また，みんなを守ってくれている人がどんな気持ちでいてくれているのか，子どもたちに立ち止まらせて考えるために教師がゆさぶりをかける。これらのことから守ってくれている人の内面を考えさせていきたい。

10. 指導計画(全 12 時間)

教師の投げかけ

ねがい

子どもの発想

気付き

①

探検のときに見つけたグリーンベルトって何だろう。

思・表①

- C : 最近できたよ。
- C : ここを歩こうという目印だよ。
- C : みんなそこを通っているよ。
- C : 車にひかれられないためにある。
- C : 安全のためにあるんだよ。

安全のためのものって町の中にもっとあるのかな。

110番の家も 信号機とか横 交番もあるよ。 消火器があった
そうだよ。 断歩道かな。 よ。

安全なものを探したい。

②③

探検して調べましょう。

関・意・態①

- C : グリーンベルトが駅の前にもあったよ。ずいぶん長いね。
- C : 歩道やグリーンベルトに気をつけて歩いてたよ。
- C : 信号やマークがたくさんあるね。
- C : 110番の家が駅の近くにたくさんあったよ。

気付き①

町の中には，安全をまもるためのものが
たくさんあるね。

④本時

町の人たちはどんな気持ちでみんなを守ってくれているのだろう。

思・表①

C : 交通指導ボランティアさんは、みんなが事故にあわないようにって思っていると思う。

C : 交番の人は事件が起こらないように守ってくれていると思う。

C : 消防署の人は熱いけど頑張ってくれていると思う。

C : 消防署の人は火が怖くないのかな。

C : 交通ボランティアさんはどうして毎日通学路に立ってくれているんだろう。

安全を守ってくれる人に聞いてみたい。

⑤

インタビューすることを考えよう。

思・表②

C : どんなことを聞こうかな。

C : どんな聞き方をすればいいかな。

C : インタビューの練習をしよう。

交番：どんな仕事をしていますか。仕事は大変ですか。

交通指導ボランティア：どうしてボランティアの仕事をしているのですか。

110番の家：どうして110番の家になったのですか。

消防署：どんな仕事をしていますか。仕事は大変ですか。

⑥

インタビューの練習をしよう。

関・意・態②

C : 誰が何を質問するか決めよう。

C : 聞くときは必ずあいさつをしよう。

C : お客さんが来たらインタビューをストップして譲ってあげよう。

⑦～⑨

インタビューをしに行こう。

気付き①

安全を守ってくれている人がたくさんいるのだな。

安全を守るために、大変なのだ。自分たちもしっかり安全に気をつけよう。

⑩～⑬

調べたことをまとめて発表しよう。

思・表③

C : わかったことを絵本にしたいな。

C : 放送で伝えたいな。

C : 感謝の手紙を書きたい。

⑭

手紙のお返事を読もう。

気付き②

C : どうしてありがとうと返事してくれたんだろう。

C : ボランティアさんは子どもがあいさつしてくれるとうれしいんだ。

C : 守ってくれる人が心配しないように、安全に気を付けて学校に来よう。

C : 安全に生活することがうれしいんだよ。

地域の人がみんなを見守ってくれているな。安心して生活できるな。野比の町っていい町だな。

自分たちも安全に気をつけて行動して、地域の人に喜んでもらおう。

11. 本時計画(4/14 時間)

(1)本時の目標

みんなを守ってくれているものや人に気付き、どんな気持ちで見守ってくれているのかに興味をもつことができる。

(2)本時の流れ

学習活動 C：予想される児童の反応	教師の指導・支援	評価（方法）
<p>1. 前時の学習をふり返る。</p> <p>T：みんなを守ってくれているものはどんなものがあった？</p> <p>C：子ども 110 番の家，消防署，大人・親</p> <p>T：どんなことをしてくれているの？</p> <p>C：指導員さんは朝，信号の所に立っているよ。</p> <p>C：おまわりさんはパトロールしているよ。</p> <p>C：消防士さんは，火事を消しているよ。</p> <p>T：みんなを守ってくれている「もの」がたくさんあったね。それだけでなく「人」もいるんだね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の探検でどんなものを見つけたのかを聞く。 ・「もの」と「人」に整理して板書する。 ・みんなを守ってくれている大人はどんな人がいるか考えさせる。 	
<p>どんな気持ちでみんなを守ってくれているのだろう。</p>		
<p>2. みんなを守ってくれている人が，どんな気持ちでしてくれているか考える。</p> <p>C：指導員さんはみんなが車にひかれないようにという気持ちでしている。</p> <p>C：おまわりさんは，事件にあわないようにしてくれている。</p> <p>T：教師のゆさぶり</p> <p>C：指導員さんは，早起きが得意なんだよ。</p> <p>C：おまわりさんは毎日パトロールしているのかな。</p> <p>C：消防署の人は火事が怖くないのかな？</p> <p>C：110 番の家の人は本当に人が入ってきたことがあるのかな。</p> <p>3. 本時の授業で考えたことをワークシートに記入する。</p> <p>C：交通指導ボランティアさんは朝早くから来ていて疲れませんか。</p> <p>C：110 番の家の人は，本当に子どもが逃げてきてもいいんですか。</p> <p>C：おまわりさんはどうして警察官になったのですか。</p> <p>C：消防署の人は，火事が怖くないのですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに身近な交通指導ボランティアさん，子ども 110 番の家の人，おまわりさん，消防署の隊員を中心に話を進める。 ・子ども一人ひとりが考えを持てるように，ゆさぶりをかける。 ・ある児童の考えを他の児童にも聞き返していきたい。 →「あなたはどう思う？」 ・分からないことがたくさんあることに気付かせる。 ・板書を写し，他に気になったことをワークシートに書かせる。 ・次時の確認をする。 	<p>【思考・表現②】</p> <p>安全に関係したり，人の内面に迫ったりするような質問が書けている。</p> <p>(ワークシート)</p>

修正本時案

修正本時案とは、

授業後の研究協議会の成果と課題を受け、

授業をよりよくするために本時案を修正した展開案である。

修正本時案(4/14 時間)

(1)本時の目標

みんなを守ってくれているものや人に気付き、どんな気持ちで見守ってくれているのかに興味をもつことができる。

(2)本時の流れ

学習活動 C：予想される児童の反応	教師の指導・支援	評価（方法）
<p>1. 前時の学習をふりかえる。</p> <p>T：みんなを守ってくれているものはどんなものがあった？</p> <p>C：子ども 110 番の家，消防署，大人・親</p> <p>C：指導員さんは朝信号の所に立っているよ。</p> <p>C：おまわりさんはパトロールしているよ。</p> <p>C：消防士さんは，火事を消しているよ。</p> <p>T：みんながいつもお世話になっている人もいますね？</p> <p>C：いつも裏門のところにボランティアさんが立っているよ。</p> <p>C：正門でハイタッチしてくれるんだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の探検でどんなものを見つけたのかを聞く。 ・「もの」と「人」に整理して板書する。 ・みんなを守ってくれている大人はどんな人がいるか考えさせる。 ・交通指導員ボランティアさんの写真を掲示する。 	<p>ボランティアさんの具体的なイメージを児童全員で共有したい。</p>
<p>どんな気持ちでみんなを守ってくれているのだろう。</p>		
<p>2. みんなを守ってくれている人が，どんな気持ちでしてくれているか考える。</p> <p>C：自分や人を安全にしてくれる。</p> <p>C：元気よく学校に行ってほしいと思っている。</p> <p>C：毎朝つらくないのかな。</p> <p>C：寒い日も暑い日も立っていてくれるよ。</p> <p>3. ボランティアさんに聞いてみたいことをワークシートに記入する。</p> <p>C：交通指導ボランティアさんは朝早くから来ていて疲れませんか。</p> <p>C：どうしてつらいことがあっても見守ってくれるのですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに身近な交通指導ボランティアさんを中心に話を進める。 ・子ども一人ひとりが考えを持てるように，ゆさぶりをかける。 ・ある児童の考えを他の児童にも聞き返していきたい。 →「あなたはどう思う？」 ・分からないことがたくさんあることに気付かせる。 ・板書を写し，他に気になったことをワークシートに書かせる。 <p>・次時の確認をする。</p>	<p>子どもたちの「わからない・どうしてだろう」という疑問を多く出させたい。</p> <p>【思考・表現②】 安全に関係したり，人の内面に迫ったりするような質問が書けている。 (ワークシート)</p>

学習活動 C：予想される児童の反応	教師の指導・支援
<p>1. 前時の学習をふりかえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>成果</p> <p>みんなを守ってくれているものが、「交通指導ボランティアさん」にしぼられてイメージがわきやすかった。より身近な話題として、日常を思い出しながらボランティアさんの活動をふり返ることができた。</p> <p>課題</p> <p>交通指導ボランティアさんのイメージは児童によって違う。2～3名のボランティアさんの顔写真があると、児童間でイメージの共有化ができた。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の探検でどんなものを見つけたのかを聞く。 ・「もの」と「人」に整理して板書する。 ・みんなを守ってくれている大人はどんな人がいるか考えさせる。 ・交通指導員ボランティアさんの写真を掲示する。
<p>2. みんなを守ってくれている人が、どんな気持ちでしてくれているか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで意見を交流させる形を、教師の前に座らせる形にした。意欲的に発言したり、友だちの意見に耳を傾けようとしたりする姿が見られた。また、児童は、自分たちを守ってくれている物や人の存在に気付いていたが、今回の話し合いで、より深められたと感じている。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約25分間意欲的に話し合いができた。しかし、2年生にはもう少し短かめに時間を設定すると、より集中して話し合いに取り組めたと思う。 ・ボランティアさんの気持ちを考える際に、「あれ？分からないな・・・」「どんな気持ちで取り組んでいるのか知りたい！」という児童の声を引き出したかった。そのためには子どもたちの心を揺さぶる教師からの発問の工夫が必要だったと考える。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに身近な交通指導ボランティアさんを中心に話を進める。 ・子ども一人ひとりが考えを持てるように、ゆさぶりをかける。 ・ある児童の考えを他の児童にも聞き返していきたい。 →「あなたはどう思う？」 ・分からないことがたくさんあることに気付かせる。 ・板書を写し、他に気になったことをワークシートに書かせる。
<p>3. ボランティアさんに聞いてみたいことをワークシートに記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージを共有できていなかったので人物の気持ちを考えるのは難しかった。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の確認をする。

研究協議会で話し合った各グループの模造紙

通りたい子どもの姿 ○○さんに、△△ときいてみたい。

みんなを守るためにものがあることや、人がい	みんなを守ってくれている人は、どんな気持ち	印象的な子どもの姿(学び)について
ることに気づけたか。	でいてくれているのか考えられたか。	
<p>ここも110番の お話を聞いて ○さん(本人)</p> <p>深々と お話を聞いて ○さん(本人)</p>	<p>うれしい気持ち のらり、無言で お話を聞いて ○さん(本人)</p> <p>もう、スロウにも お話を聞いて ○さん(本人)</p> <p>聞いて、そして 「ありがとう」 とつぶやいて ○さん(本人)</p> <p>時間、大変な かめに、お話を 聞いて、そして 「ありがとう」 とつぶやいて ○さん(本人)</p>	<p>聞いて、そして 「ありがとう」 とつぶやいて ○さん(本人)</p>
<p>出来た</p>	<p>ボランティアさんにしほった のが良かった。</p>	

「ぼくたちが聞きたい」と言う
気持ちにさせた方が良い

むずかしい
・相手の立場になって考える事

その人の事を思ったり、
知らないことと聞けない

通りたい子どもの姿 ○○さんに、△△ときいてみたい。

みんなを守るためにものがあることや、人がい	みんなを守ってくれている人は、どんな気持ち	印象的な子どもの姿(学び)について
ることに気づけたか。	でいてくれているのか考えられたか。	
<p>野子にのびに ついて、見えた こと、笑見した こと、発表して</p> <p>○さん(本人)</p>	<p>安全にしてくれ ている という気持ち</p> <p>元気よく 学校に行き ほしいう という気持ち</p> <p>おじさんたち だから フらい という気持ち</p> <p>「お話を聞いて ○さん(本人)</p> <p>「お話を聞いて ○さん(本人)</p>	<p>覚えていて人の 名前に責任的 な名前を言え ている事(○さん)</p> <p>「お話を聞いて ○さん(本人)</p> <p>「お話を聞いて ○さん(本人)</p>
<p>良くできていた。</p>	<p>メリハリ 高まるまで 時間(○さん)</p>	<p>どうして、お話を 聞てくれるん ですか!</p> <p>ひきつけられる ような活発力</p>

課題

いろいろな気もち
が、あがりたかた
その場で、お話を
聞いて、そして
「ありがとう」
とつぶやいて
○さん(本人)

先生の管理の仕方
①
子どもの姿と出たものを
人にわかるように板書を整
理して説明できていた。
②
子どもも納得していた。

遊りたい子どもの姿 ○○さんに、△△ときいてみたい。

みんなを守るためにものがあることや、人がいることに気づけたか。	みんなを守っている人は、どんな気持ちでいてくれるのか考えられたか。	印象的な子どもの姿(喜び)について
<p>みんなを守るためにものがあることや、人がいることに気づけたか。</p> <p>みんなを守るためにものがあることや、人がいることに気づけたか。</p> <p>みんなを守るためにものがあることや、人がいることに気づけたか。</p>	<p>みんなを守っている人は、どんな気持ちでいてくれるのか考えられたか。</p> <p>みんなを守っている人は、どんな気持ちでいてくれるのか考えられたか。</p> <p>みんなを守っている人は、どんな気持ちでいてくれるのか考えられたか。</p>	<p>印象的な子どもの姿(喜び)について</p> <p>印象的な子どもの姿(喜び)について</p> <p>印象的な子どもの姿(喜び)について</p>

よくできていた

うれしいこと

考えただけで”ただ行動を聞いただけではよかったのか?”

聞くことでうれしいこと、つらいこと、あるということに気付く。

遊りたい子どもの姿 ○○さんに、△△ときいてみたい。

みんなを守るためにものがあることや、人がいることに気づけたか。	みんなを守っている人は、どんな気持ちでいてくれるのか考えられたか。	印象的な子どもの姿(喜び)について
<p>みんなを守るためにものがあることや、人がいることに気づけたか。</p> <p>みんなを守るためにものがあることや、人がいることに気づけたか。</p> <p>みんなを守るためにものがあることや、人がいることに気づけたか。</p>	<p>みんなを守っている人は、どんな気持ちでいてくれるのか考えられたか。</p> <p>みんなを守っている人は、どんな気持ちでいてくれるのか考えられたか。</p> <p>みんなを守っている人は、どんな気持ちでいてくれるのか考えられたか。</p>	<p>印象的な子どもの姿(喜び)について</p> <p>印象的な子どもの姿(喜び)について</p> <p>印象的な子どもの姿(喜び)について</p>

みんなを守るためにものがあることや、人がいることに気づけたか。

友時に つながる キーワード

気持ちをはり下げるキーワード

どういう問いかけが効果的か。

- ・ 服装、持ち物等外面から、気持ちへつなげるために。
- ・ 固有名称

迫りたい子どもの姿 ○○さんに、△△ときいてみたい。

みんなを守るためのものがあることや、人がい
ることに気づけたか。

みんなを守ってくれている人は、どんな気持ち
でいてくれているのか考えられたか。

印象的な子どもの姿(学び)について

町たんけんへの視点

子どもの考え

印象的な発言

「町たんけん」って
何ですか？

「町たんけん」って
何ですか？

ボランティア
ボランティア

ものボランティア
人もボランティア
分かった。

警察官(ボランティア)
ボランティア

おはようございます
おはようございます
おはようございます

おはようございます
おはようございます
おはようございます

おはようございます
おはようございます
おはようございます

しゅん、かわいば？

元気
もってる!!

興味もして
話しかけて
たよなほな
いた

先生の誘導

気づけた
気づいた
何気なく意識して

考えられた

おはようございます
おはようございます
おはようございます

おはようございます
おはようございます
おはようございます

おはようございます
おはようございます
おはようございます

お金をらって働いている?

授業で取り上げたい
子どもの姿

But

お手紙があつた
出た。
何をきりばよいか

主体的な問題解決

迫りたい子どもの姿 ○○さんに、△△ときいてみたい。

みんなを守るためのものがあることや、人がい
ることに気づけたか。

みんなを守ってくれている人は、ど
んな気持ちでいてくれているのか考えられたか。

印象的な子どもの姿(学び)について

ものたくさん

交通ボランティア

人お父さん

⇒他にも守
てくれる人に
聞く予定あり。

お母さん

↓
話し合う視点が明
なつた!!

たくさん

話しやすい
かな。
聞きやすい。

本当に
そうかな

課題
子どもから、聞いて
みたい!!という
おもいを出させる。

話しやすい
かな。
聞きやすい。

話し合った
内容にそつた
説明をしたよ